

分類不能を起因物とする分類不能の死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	1	14～16	現場（敷地内の立木の伐採、剪定および1階テナントの資材搬出の作業などを行う）に、一人で入場していたところ、どこかから墜落して、顎を裂傷し、数時間後に急性心臓死に至ったもの。被災者には糖尿病の持病があり、診察した医師によると、墜落の外傷により心臓に負担がかかり心筋梗塞を発症した、又は、心筋梗塞を発症した後に墜落した、どちらの可能性も考えられるとのこと。	30309	1～9
2021	3	8～10	建売住宅建設現場において躯体周りに土入れする作業を予定していた土木作業員が、残土搬入車両（ダンプトラック・積載荷重300kg）の後方で意識不明、呼吸停止の状態であっていた。病院搬送後、死亡が確認された。外傷は認められず、首骨第3関節にずれが生じていた。	30199	1～9
2021	5	12～14	商業施設及びホテルの解体工事現場において、解体建物内1階での待機指示を受け、その後、被災者が当該建物内1階の待機指示場所付近で倒れているのを発見された。傷病名は出血ショックを原因とした低酸素性脳症である。被災者が倒れていた付近には階段が設置されていたが、階段から転落したかどうかは不明。	170201	10～29
2021	10	12～14	被災者ら4名が、集材作業を行っていた際、斜面上にて玉掛作業を行っていた被災者の応答がないことを不審に思った同僚が、約90m下方の斜面上にてうつぶせに倒れている被災者を発見した。	60201	50～99
2019	11	6～8	事業所玄関及び門扉の鍵当番だった同僚が朝出勤し、門扉を開けて事業所玄関に向かったところ、事業場敷地内の門扉と玄関との間の客用駐車場で倒れていた被災者を発見した。被災者はすぐに救急車で病院に搬送されたが、同日に多発肋骨骨折による右外傷性血気胸で死亡した。倒れていた被災者を発見した。	90109	1～9

			見した時、周囲に被災者以外の人はおらず、被災者は多発肋骨骨折に至った経緯を話すことは無かった。		
2018	7	10 ～ 11	被災者が取引先の事務所（3階）で打ち合わせ後に事務所を退室した。その後、ドスンという大きな音がしたので事務所から出てみると、2階から1階の途中で被災者が倒れており、搬送先で死亡が確認された。	40301	1～9
2018	7	20 ～ 21	被災者は、タクシーの運転手であり、夕方、乗客1人を乗せて、その後、豪雨で行方が分からなくなった。後日、遺体として発見された。	40201	30～ 49
2017	3	22 ～ 23	スキー用ワックスの研究開発に必要なデータ取りのため出張していた被災者が、路上で心肺停止の状態で見つめられた。原因は不明であるが、頭部、顔面に打撲痕があり、頸椎損傷により歩行困難となり、寒冷状態及び循環器不全等により死亡したと推定される。	120109	1000 ～ 9999
2017	4	16 ～ 17	被災者は工事中、雨樋の取り付けのため足場上で単独作業をしていた。他の現場作業員が、足場の上からボルトが落ちてきた音を聞いたため、現場代理人に説明した。現場代理人が足場を確認したところ、北面の足場の3層目（地上からの高さ4.76m）で被災者が倒れていた。病院に搬送されたが、翌日死亡が確認された。	30201	10～ 29
2017	10	10 ～ 11	トラック運転手の被災者は、荷主先構内で荷降ろし準備作業のため、トラック後方の観音扉左側を開け、続いて観音扉右側を開けた。待機していた荷主事業場のフォークリフト運転手が、トラック内の荷を取り後退しようと振り返ったところ、アスファルト舗装の路面に仰向けに倒れている被災者を見つけた。救急車で病院に運ばれたが、頭部打撲による頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫により死亡した。	40301	30～ 49
2016	7	8 ～ 9	被災者は当該事業場の倉庫の横に4tトラック（ウイング車）を止め、荷物の積み替え作業の段取りを行っているものと思われていたが、同僚が付近を通りかかった時に、トラックの後ろで仰向けに倒れて頭部と耳から血を流している被災者が見つめられた。	40301	30～ 49
			タクシー運転業務中、事務所から無線で配車指示された場所で客を乗せ、客		

2015	9	21 ～ 22	から指示のあった道の駅駐車場に到着したところ、客から「金を出せ」と言われたあと刃物で腹部等を刺された。被災者はタクシーの外へ逃げて倒れていたところを、客の運転する車に頭部をひかれ死亡した。客は道の駅駐車場に事前に自家用車を用意しており、犯行後自家用車で被災者の頭部をひいて逃走したものの。	40201	10～ 29
2015	7	15 ～ 16	被災者は、工場のエアー配管増設工事において、体調不良により休憩中になんらかの理由により頭部を負傷し、搬送先の病院で7月13日に死亡したものの。なお、発生時間不明のため、救急車を呼んだ時間を記載。災害の発生状況等目撃者がいないことから、被災者の体調不良の原因や発生した事象が不明であり労働災害と結論づけることができなかったが、労災請求先の署において、平成28年3月11日に業務上の決定がなされたもの。	30203	1～9
2015	9	9 ～ 10	翌日の作業の準備のために出勤した労働者が、有機溶剤の回収槽付近で倒れている被災者を発見した。直後に休日の会社の様子を見に来た事業主とともに被災者の様子を見ていたが、一向に目を覚まさないため病院に搬送され、治療が行われたが、9月11日に脳ヘルニアのため死亡した。	10899	10～ 29
2015	8	15 ～ 16	間伐作業中、立木の伐倒作業で、伐倒した立木が予定の方向からずれて倒れた後、被災者は伐倒木先端の位置より下方の斜面で発見された。被災者は、災害発生後治療を受けていたが、10月2日に死亡した。	60201	1～9
2015	7	21 ～ 22	調理場にて、客へ提供する食材を試食したところ肉片が喉に詰まり、呼吸困難に陥って救急搬送。搬送時点から低酸素脳症が認められ、発生から約2ヶ月経過した頃に多臓器不全に陥り、平成27年9月23日に死亡したものの。	140209	1～9
2015	9	5 ～ 6	業務終了後の片づけ中に、後方から頭部を複数回殴打される。	140201	10～ 29
2015	9	16 ～	林道工事において、元請の作業員と共に2名で残土処理場の木柵の設置作業を終了した後、元請の作業員はドラグショベルで法面の整形作業を行い、被災者は行う作業がないため、元請の作業員から休憩する旨言われていた。別工事を行っていた建設工事の関係者が、車で帰社途中に、残土処理場の横の	30199	10～ 29

		17	林道を走行していたところ、林道上に横向けに倒れている被災者を発見した もの。		
2014	2	17 ～ 18	被災者は、徒歩にて夕刊の新聞配達を行っていた。なかなか家に帰ってこな いことを不審に思った家族が被災者を探したところ、坂道の溝に倒れていた 被災者を発見した。被災者は救急搬送されたが、搬送先の病院にて死亡が確 認された。	80205	1～9
2014	5	8 ～ 9	荷降ろしの為、トラック内で待機していたところ、脳梗塞により死亡した。	40301	30～ 49
2014	7	19 ～ 20	空調機点検中、くも膜下出血により死亡した。	30301	1～9
2013	5	18 ～ 19	飲食していた客が、仰向けに倒れている被災者を発見し、1階にいた事業主 に知らせた。被災者は、救急搬送されたが、死亡した。	140201	1～9
2013	9	17 ～ 18	被災者は、自社倉庫（平屋、中2階有り）内の整理作業を単独で行っており （被災者の妻が、道路から本人が倉庫内で作業をしているのを見かけてい た）が、上席者が倉庫内のコンクリート床上に倒れている被災者を発見し た。その後、救急搬送されたが、脳挫傷により死亡した。尚、災害発生時に 目撃者はおらず、詳細は不明。	30199	10～ 29
2013	7	5 ～ 6	脂原料を混合するミキサー内（直径：1 m、深さ：1 m）において、被災者 1名でミキサー内の清掃作業（布にガソリンを染み込ませての拭き取り）を 行っていたところ、意識を失い死亡した。	10801	30～ 49
2013	7	18 ～ 19	被災者はダンプトラック（以下、「車両」という。）での骨材の配送業務を 終え、車庫（屋外駐車場）にて自身が運転した車両の点検等（タイヤのナッ ト増し締め）の作業中、同僚が被災者のナット増し締めの音が聞こえなく なったことを不審に思い、様子を見にいったところ、被災者が車両右後部の	40301	10～ 29

			タイヤ脇で倒れていた。		
2012	12	21 ～ 22	高速道路のパーキングエリアで、運転していた大型トラックの荷台から転落して後頭部をアスファルトに強打し、頭蓋骨骨折、脳挫傷により死亡した。	40301	30～ 49
2012	4	13 ～ 14	事務所において、事務職員が施設利用者に暴力行為を受け死亡した。	170209	1～9
2012	2	3 ～ 4	被災者は岸壁に停泊したチップ船において、揚貨装置を運転し、チップの荷役作業に従事していたところ、途中で行方がわからなくなった。同僚等が搜索したところ、チップ船から約500m離れたチップヤードのたい積したチップの山の中から被災者が発見され、死亡が確認された。	50202	10～ 29
2012	2	11 ～ 12	カフェの厨房にて、立ったままカウンターに伏せている被災者が発見された。発見者が声かけするも返答なし。体を床に寝かし脈を確認したが無かったため救急車を呼び、看護師による心肺蘇生を行ったものの回復せず、救急搬送先の病院で「心筋梗塞」のため死亡した。	130201	30～ 49
2012	3	16 ～ 17	タクシー乗務員である被災者が客を乗せ走行を開始したところ、客が準備していた小刀で首を刺され死亡した。	40201	100 ～ 299
2011	7	0 ～ 1	タクシー運転手の被災者は、客を装った犯人を乗車させた。被災者は、20km程離れた、犯行現場において、犯人に左脇腹などを数箇所を刺され、売上金1万円を奪われ、失血死した。	40201	50～ 99
2011	9	6 ～ 7	9月6日朝7時頃、宿直勤務中であった被災者が、宿直室と職員駐輪場の隙間で頭から血を流してうつぶせで倒れているのを学校長が発見、意識不明の状態に陥り、翌日朝に外傷性脳障害で死亡した。	120109	1～9
2011	2	16 ～ 17	新幹線高架橋建設工事において、つり足場上でPC桁の型枠の組立作業を行っていた被災者が何らかの原因で喉部を打ちつけ、気道損傷等で意識不明状態に陥り、9ヶ月後（11月11日）に死亡したものの。	30105	10～ 29

2011	7	13 ～ 14	午前11時頃から食品工業内でフォークリフトを使用しトラックにフレコンバックの荷積み作業を行っていたが、午後1時半頃トラック運転席で具合が悪そうにしている被災者がいた。この時「頭が痛く、真っ白になった」と話しており、その後同僚が迎えにきて会社に戻って自宅に送り届けた。しかし翌朝、家族が口周辺に血が広がって意識のない被災者を発見したもの。その後病院へ搬送されるも様態が悪化し、8月25日死亡した。	40301	10～ 29
2011	11	12 ～ 13	被災者は午前中に同僚と製品を配達し終え、事業場に戻ってきた後、午後の配達分の準備を行っていた。その後、中2階へ上るための梯子の下に、意識不明で倒れている所を同僚に発見された。意識が回復しないまま、12月3日に死亡した。	10105	1～9
2010	8	4 ～ 5	事務所内で待機しているとき、何者かに鉱物油を撒かれ、火をつけられた。	80204	1～9
2010	5	15 ～ 16	商品見本やパンフレット類の入ったダンボール箱を台車を使って移動する際、スロープを後ろ向きに下がっていたところ、右下腿を負傷（肉離れ）した。右足を絆創膏固定術と薬剤投与で経過を見ていたが、17日後の業務終了後、自宅に戻ったところ血栓症を起こして体調不良に陥り、救急車搬送される途中に死亡した。	170209	100 ～ 299
2009	5	16 ～ 17	コンクリートミキサー車の運転を担当する被災者が、同車洗浄作業場所において、同車の左後輪を中腰で水洗いしていた。その後、あおむけになり地表面に倒れているところを発見された。	40302	10～ 29
2009	8	10 ～ 11	被災者は、災害発生地まで食品運搬用タンクローリー車を1人で運転し、運送先で食品を下し、午前10時40分頃からタンクローリー容器内の清掃作業を行っていたが、容器内で倒れているのが発見され、死亡が確認された。	40301	10～ 29
2009	11	23 ～ 24	路上において、停車していたタクシーの中で、客としてタクシーに乗車していた者に刃物で刺殺された。	40201	100 ～ 299
		9			

2009	6	～ 10	事務所に侵入した第三者（強盗殺人犯）に、鈍器で身体を殴打等され、死亡した。	90109	1～9
2009	9	21 ～ 22	パチンコ店において、店とトラブルを起こしたことがある男性が来店したため、入店を遠慮してもらうように被災者が駐車場にて説得していたところ、男性が所持していたナイフで刺された。	140309	50～ 99
2009	5	12 ～ 13	勤務先の事務所で昼の休憩中、侵入者に刃物で身体を刺された。また、同じく事務所で休憩していた別の作業者也身体を刺され休業災害を負った。	10401	10～ 29
2009	7	17 ～ 18	空き住宅のリフォームのため、被災者は1階の外壁、事業主は建物2階の塗装を行っていた。事業主が被災者に作業終了を伝えに行ったところ、地面に倒れている被災者を発見した。事業主は救急車を呼び病院へ搬送したが、翌日に死亡した。なお、被災者は保護帽及び安全帯は着用していなかった。	30209	1～9
2008	5	6 ～ 7	荷の配送先倉庫の納品口において、配送先の関係者が始業のために機械警備の解除操作をした。後方で、荷の配送をしてきたトラック運転者の「あっ」という声を聞き、振り返ると、被災者が倉庫のプラットホーム下で仰向けの状態で倒れていた。病院に搬送した後、死亡した。	40301	30～ 49
2008	5	16 ～ 17	被災者は配達業務の終了後、倉庫に保管するための段ボールをトラックに載せて事業場から倉庫に向かった。その後、「倉庫前に人が倒れている。」との連絡が入ったため確認に行ったところ、被災者が倉庫前に停車してあるトラックの後部で仰向けに倒れているのを発見した。	10805	1～9
2008	3	15 ～ 16	空気弁及び空気弁室の修繕工事の現場において、現場の写真撮影及びセメントモルタルの補修作業に従事していたところ、被災者はゆっくりと屈みこむように倒れた。	30203	1～9
2008	3	14 ～ 15	商品保管倉庫内に積まれていたウレタン製断熱パネルの上に意識不明の状態で仰向けに横たわっている被災者が発見され、死亡が確認された。被災者が発見された場所から少し離れたところに、商品にもたれかかるように傾いている脚立があり、その下には被災者が普段使用している眼鏡が落ちていた。	80109	30～ 49

2008	1	7 ～ 8	小学校のボイラー室において、殺害された被災者（臨時職員）が発見された。なお、被災者は同校に所属する職員により刃物で刺殺された。	120109	50～ 99
2008	8	2 ～ 3	深夜営業の店舗内から釣具を盗み、車で逃げた2人組を追いかけた被災者は、犯人の車のフロントガラスにしがみついたが、急ブレーキで振り落とされ、車の下にはさまれたまま約60mひきずられて死亡した。	80209	1～9
2008	11	7 ～ 8	被災者は、新聞（朝刊）配達のため販売店において紙分け作業終了後、重量約8kgの新聞を自転車の前の籠に積んで出発した後、マンションの塀に自転車ごと寄りかかりうずくまっているところを通行人に発見され、病院に搬送後、死亡した。	80205	1～9
2007	8	14 ～ 15	店舗解体工事現場において、被災者が解体建屋の2階を西から東に歩いて行くのを目撃されたのを最後に所在が不明になり、工事関係者及び警察・消防で捜索していたところ、2日後、解体中のエスカレーターの間から発見された。	30209	10～ 29
2007	12	21 ～ 22	閉店後、店の売上金等が入った手提げ金庫を持ち、店舗向かいにある事務所に運んで行った際、事務所内で強盗に襲われた。	80209	1～9
2007	6	6 ～ 7	災害発生日の前日から泊り込みで片付け作業を行っていた。単独で作業していたことから、夜間に仮眠等の休養をとっていたかは判然としないが、災害発生時点において被災者は自ら体調の不良を警備員に訴え、病院に搬送されたが死亡した。	170209	1～9
2007	4	8 ～ 9	同一事業場内で作業する他社の所属作業員から一方的に暴力を受け死亡した。	40301	10～ 29
2006	11	14 ～ 15	木造家屋建築工事において、内装工事を行っていた被災者が、材料置場の2階の室内床上に倒れているところを同僚に発見され、骨折、打撲により手術を行い入院加療中であつたが、死亡した。	30202	1～9

2006	7	10 ～ 11	ガス供給管新設工事の作業中、被災者が工事車両に向かって歩いていたら、突然けいれんを起こし卒倒した。直後に病院に搬送されたが、翌日死亡した。	30199	10～ 29
2006	12	4 ～ 5	被災者は、営業所の車庫待ちで勤務していたところ、夜勤終了時刻ころ、売上げが上がらないことから配車係に終業時刻後に流しで引続き勤務したい旨申し出て出庫した。その後自ら運転していた営業車のトランクから発見された。GPSには実車となり目的地方面に向かい発見場所に至った記録があった。	40201	30～ 49
2005	7	16 ～ 17	午前中の自動ドア修理作業を終え、工事車両内での昼食後、からだの不調を訴えて嘔吐し、死亡した。	11702	10～ 29
2005	6	10 ～ 11	洗浄機のピット内でストレーナーのフロートを交換していたところ倒れた。	11209	100 ～ 299
2005	1	11 ～ 12	事務所内で会話中、突然倒れた。	40201	100 ～ 299
2005	8	17 ～ 18	売上金回収業務中に社用車の後部座席にて伝票処理作業を行っている際に倒れ、死亡した。	170201	300 ～
2005	8	15 ～ 16	成型機を操作しタイヤ外周部作成作業に従事していたところ、機械前面部ドラムに激突し倒れた。	10806	1000 ～ 9999
2005	12	6 ～ 7	補習授業の合宿中に、宿泊部屋のベッド脇に倒れていた。	120109	50～ 99
		11	ビル内の清掃作業終了後、エレベーター内で気分が悪くなり、意識を失っ		50～

2005	6	～ 12	た。	150101	99
2005	1	21 ～ 22	コンテナ荷役作業において、岸壁上のガントリークレーンの下付近でガントリークレーンやトレーラトラックに対して合図をしていた被災者がつり荷に激突された。	50202	50～ 99
2004	6	10 ～ 11	銀行の応接室において面談中の客にいきなり包丁で刺された。	90101	1～9
2004	2	16 ～ 17	粉碎室において、移動式の階段を使用して粉碎機の投入機より原料を投入していたところ、階段の脇で倒れた。	170209	10～ 29
2004	2	12 ～ 13	パチンコ店閉店後に役員への報告のため制服で店内待機中、店の前で泥酔し騒ぐ男に対し外に出て注意したところ、男に路上まで引きずられ、殴打された。	170209	10～ 29
2004	7	12 ～ 13	ガソリンスタンドで勤務中、売上金を盗もうとした同僚に殺害された。	80204	1～9
2003	12	4 ～ 5	強盗を目的とした犯人がタクシーに乗車し、途中で鋭利な刃物で胸など数カ所を刺された。	40201	100 ～ 299
2003	5	14 ～ 15	パチンコ景品買い取り所内で勤務中に殺害された。	80409	1～9
2003	4	5 ～ 6	事業場における管理監督者としての重責を負って業務量および労働時間の増加があり、体力的・精神的に過大な負荷を受けて自殺した。	10809	100 ～ 299
		13	一人でチェーンソーを使用して山林の伐採作業を行っていた者が、午後に縦		

2003	3	～ 14	の木を伐採するという無線連絡をしてきたのち連絡が途絶えたため、他の者が現場に駆けつけたところ、樫の木の切り株から約15m下の沢の中に倒れて死亡していた。	60201	10～ 29
2003	3	9 ～ 10	コンピューターソフトの開発担当者が外注先に出張して連続した過重労働を強いられ、ビル9階の窓から投身自殺した。	170202	30～ 49
2002	7	8 ～ 9	ワゴン車を使用して遊園地の従業員の送迎を行っていたが、夜勤者より出迎えないと連絡があり、電話連絡したが応答ないので捜索したところ路上の車内で意識を失っていた。	170201	50～ 99
2002	2	20 ～ 21	製鉄所構内で行われた配管移設工事に立ち会って帰宅し、入浴して食事を済ませたときに呼吸困難となり死亡した。	170209	50～ 99
2002	2	5 ～ 6	自宅の寝室において倒れているのを発見し病院に移送したが、くも膜下出血のため死亡した。	40301	10～ 29
2002	8	10 ～ 11	鉄骨造ブロック積み3階建てビルの解体工事において、午前の休憩後に解体用重機のオペレーターが現場に戻るときに、ビルの鉄骨階段（階段手すりは撤去されていた）から2.5m離れた地面に解体工が倒れているのを発見した。	30201	1～9
2002	7	10 ～ 11	同僚6名と軌道脇法面の除草後の草の集積作業に取り組むことになっていたところ、橋下の公道にうつ伏せになって倒れていた。（状況、原因不明）	30199	10～ 29
2001	3	20 ～ 21	ポリエステル繊維製造工程において、延伸機の糸切れによる不具合の解消作業で、引張った状態で製造しているポリエステル繊維が機械側に戻らないよう切断した端を持っていた者が突然尻餅をつくような形で倒れ込み、そのまま右肩を下にした状態で高さ32cmの架台上から転落した。	10802	300 ～ 499
		7	汚泥浄化棟内(2階建)の1階階段下付近において、汚泥状態の目視点検作業に		

2001	11	8	行った者が嘔吐して後頭部から血が出ている状態で、意識についてもはっきりしない状態で倒れているのを、同棟に近接する箇所で建築工事を行っていた建設現場所長が発見した。	11603	10～ 29
2001	9	10 ～ 11	競売で落札した家屋の引渡し命令の強制執行のため、裁判所の執行官に同行して家屋へ訪問したが旧持ち主が不在のためその家屋で待っていたところ、戻ってきた旧持ち主がいきなり日本刀で襲い掛かり、胸部を刺された。	90209	1～9
2000	2	17 ～ 18	ホテルの厨房において、上司が後片付けを指示したが遂行されていなかったため、頭を木製の盆で叩きさらに転倒した腹部への足蹴りにより肝臓が破裂した。	140101	50～ 99
2000	7	0 ～ 1	会社の研修で公園を3周するように命令されて2周半走破したときに倒れ、全身痙攣を起した。	170209	100 ～ 299
1999	10	13 ～ 14	植木の剪定作業のため塀に立て掛けてあったアルミ製のはしごの下で仰向けになっているのが発見されたが、剪定バサミが塀に置かれていたので剪定作業中に発生したものではない。(外傷性急性大動脈解離)	30199	1～9
1999	2	22 ～ 23	タクシー運転業務中、乗客に刃物で右頸部を刺された。	40201	30～ 49
1999	9	11 ～ 12	ブル集材作業で、午前中最後の作業となった胸高直径約40cm、長さ約14mのナラ材の荷掛け引き上げのOKの合図が傾斜約50度の斜面の下方約45mの位置からより出たので、ブル集材運転手がワイヤを引き上げたが、その後、合図者が戻って来ないので探しに行ったところ、荷掛け場所から約11m下方で倒れているのを発見した。	60201	1～9
1999	6	17 ～ 18	木造新築工事現場の1階玄関ホールに作業者が倒れているのを、サッシの納入に来た業者が発見した。	30202	1～9
		13	自動織機の工事で使用する材料を2人で取りに来て、1人が建物内に材料を取		30～

1999	5	～	りに入っているときに、「ドサッ」と外で音がしたので見に行くと、同僚が	30302	
		14	倒れていて後頭部を打撲していた。		49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.htmlに戻る。